



大蔵だより

- 発行日：平成26年3月5日
- 発行：大蔵地域自治協議会
広報委員会
- 住所：朝来市和田山町宮田186番地3
大蔵市民会館
TEL 079-672-5651(ファックス兼用)

大蔵まなび隊の活動に参加しませんか!!

「大蔵まなび隊」では、大蔵小学校の希望者を対象に、土曜日に年間20回の活動をしています。様々な体験活動を通して心と体を鍛え、他の学年との交流を楽しみ、そして地域の人々とふれあって、礼儀やマナーを学ぶことを目的としています。

今年度の主な活動としては、自然観察会やけん玉教室、岩津ねぎの栽培体験、はにわ作り、トールペイント等の工作、グラウンドゴルフなどがありました。また、踊りの先生を招いて『花笠音頭』を教えていただき、文化祭の舞台上で発表もしました。

大蔵地区の色々なところにお邪魔して、その地域の人々と一緒に歴史を学んだり、スポーツをしたりと、普段学校ではなかなか経験できないようなことをたくさん行なっています。

子どもたちが集まって色々なことを楽しむのはもちろんですが、多世代交流の場としても、まなび隊の活動はとても有意義なものだと感じます。また、この活動のために、地区の多くの人々が協力してくださっているということ、隊員のご家族にもご理解・ご協力をいただいているということに頭に置きながら、指導員も活動に参加しています。

▼5月/自然観察会

26年度もまなび隊の活動を予定しています。新学期がスタートしたら、隊員募集を行ないます。たくさんの子供たちの参加をお待ちしています。また、まなび隊の活動にご協力いただける大人の方も募集します。子どもたちに、あんなこと、こんなことをやらせたい、一緒になって活動したい、という方がいらっしゃいましたら、ぜひご協力をお願いします。(まなび隊参加費は年間20回で2,000円です)



▼10月/文化祭に花笠音頭で出演



▲6月/グラウンドゴルフ

7月/じろはったんベンチづくり▶

▼6月/はにわづくり



生活安全部会

防災マップ作成

前回、火災を対象にしましたが、今回は災害を対象にマップ作りをします。
災害は、何時、何処で振り被ってくるか分かりません。
避難することのない暮らしが永遠に続くといいですね。

■避難の心得

- ・家族で避難所と避難所までの経路を確認しておく。
- ・非常持ち出し品はすぐに避難できるように、早めに用意する。
- ・ラジオ、テレビなどで正確な情報を確認し、危険を感じたら早めに行動する。
- ・車は使わず歩いて避難し、塀ぎわ、狭い道、がけや川のそばは避け、垂れ下がった電線には触れない。
- ・手をつなぐなど隣近所で助け合い、高齢者、子供、病人、障害者を優先する。
- ・家を出る前にガスの元栓を締め、電気のブレーカーを落とし、避難先、安否情報のメモを玄関などに残す。
- ・万が一、大雨・洪水の中を避難する場合は、水中のマンホールや溝に注意し、長い棒を杖代わりにし、長靴は危険なので運動靴で避難する。



▲ 非常持ち出し品を準備しておきましょう

■避難場所

1次では各区の公民館（集会所）、土田市営住宅集会所、多世代交流センター

2次では和田山農業研修センター、朝来市福祉センター、大蔵小学校、大蔵市民会館、和田山ゲートボール場を指定しています。

（文責 平岡 浩人）

今年健康の為になる笑おう会でした

健康福祉部会

2月23日（日）、今年も健康福祉部会の目玉行事の「笑おう会」で、会場あふれんばかりの（約100名）参加者が3時間、寝たきりにならない為の健康管理のお話と、大型スクリーンでのお笑いDVDで有意義で楽しい半日を過ごしました。

第一部 健康教室

テーマ 在宅での健康管理～寝たきりにならないように～

◇ 馬庭内科医院 医師 馬庭幸二先生

脳卒中と運動器症候群（ロコモティブシンドローム）は予防が可能。適度な運動と食事で寝たきりにならないようにする事が大事であると教えて頂きました。

◇ 訪問看護ステーション和音の杜

理学療法士 米田 忍先生

ロコモシンドロームを予防する簡単なトレーニングを実技を取り入れて教えて頂きました。

◇ デイサービスセンターなごみの郷

管理栄養士 藤原秀子先生

脳卒中、ロコモを予防する食事の取り方を教えて頂きました。

第二部 綾小路きみまろ最新公演DVD

（文責 森下 恒夫）



▲ 実際に体を動かして、運動を教えてくださいました

交流と魅力づくり部会 大蔵の神社を訪ねる

第1回 2月9日 *盈岡神社(宮内)→御所森神社(堀畑)→若宮神社
・秋葉神社・仲山寺(高田)

当日は時折雪が舞う、あいにくの寒い日でしたが、盈岡神社(宮内)には、9時に30名の参加者が集合し、早速見学が始まった。神社建築については西垣善夫氏、神社の由緒や祭祀等については各神社氏子の長老方などから話を伺った。まず、神社参道前の鳥居附近で、昔の祭りでは馬場を馬が走り、流鏝馬^{やぶさめ}をしていたことや、子供や大人の奉納相撲大会があったことなど、また、石段手前に盈岡保育園があったことなどを聞かせてもらう。次に本殿前に行き、神社の由緒を聞かせていただいた。927年には延喜式神名帳に「盈岡神社」の記載があることから、それ以前に造営され、江戸時代の1792年には再建され、その後郷社、縣社となって現在に至っている。

次に堀畑の御所森神社に移動。御所森神社は水と縁の深い辯才天が祀られていることなどから、円山川との関係について興味深い話を聞かせていただいた。

高田の若宮神社も歴史のある神社であり、当初は円山川右岸に祀られていたが、1654年に現在の茶白山に社殿・舞殿を建築して移動した。1931年に境内、社殿が大改修され現在に至る。若宮神社の境内には火防守護の秋葉山三尺代権現を祀る秋葉神社も鎮座している。かつては大蔵はもとより旧養父町、大屋町、和田山町藤和などに社員600名を要する大組織であったようだ。又境内には但馬巡礼三十三カ所のうち第十番仲山寺も存在する。

見学者は、それぞれに先人の祈りに思いをはせ、有意義な見学会となった。

第2回は22日に行われ、第3回は3月8日に実施します。

(文責 小谷 正幸)



▲ 盈岡神社見学

豆かちと黒豆パーティー

環境部会

年明けの1月28日、体育館横に干していた黒豆の、豆かちを行いました。

いつもなら、刈り取り、乾燥、豆かちの作業は、年内に行うのですが、ここ2、3年はいつまでも葉っぱが枯れず、葉取り作業が遅れたり、なかなか乾燥しなかったりと、秋の天候が悪いせいか、豆かちも年が明けてからになってしまいました。

学校の多目的室一面にブルーシートを敷き、各班3、4人でコンテナボックスを囲み、その中に手作業でサヤから取り出した豆を入れていきました。

一時間目は3年生が、二時間目は4年生が取り組みました。

途中で飽きてきて遊んでいる子もいましたが、大半は真剣に取り組んでいました。

2月20日には、3年生の黒豆パーティーが計画され、参観に来られた父兄と一緒に、部会員もパーティーに招待して頂き、植え付けから収穫までの指導のお礼を頂いた後、紙コップに入った黒豆入り蒸しパンをいただきました。黒豆も柔らかく、パンも甘さ控え目で美味しくいただきました。

続いて、かるたやクイズをして楽しい一日を過ごしました。

(文責 雑賀 忠文)



▲ 寒い日の豆かち作業



▲ 収穫した黒豆で作った黒豆パンをいただきました

地域おこし協力隊

皆さん、「地域おこし協力隊」という名前を聞かれた事がありますか？
地域外の人材を誘致し、定住・定着を図り、魅力あふれるまちづくり活動を行い、地域の活性化を目的とした総務省の取組みです。

平成26年度、朝来市で地域おこし協力隊員を8名募集する事になりました。大蔵地区では1名募集しています。大蔵地域の遊休農地を活用した水稻栽培及び野菜栽培などによる農業推進や農業を活かした都市との交流事業の企画運営活動を希望したいと考えています。

これから随時お知らせしていきますので、皆さんご協力の程よろしくお願い致します。



大蔵
の
あ
ら
ま

わがむら歳時記 宮田区



大蔵地区内の各区で大切に守られている行事などを紹介する新コーナーです。第2回目は宮田区です。

さくら(春)まつりと秋の運動会 宮田区長 金山 彰治

大蔵地区の中心に位置する宮田区ですが、少子高齢化は進み、人口は減少しています。少しでも多くの区民が一同に会し楽しく過ごす機会を作りたいと、役員会、ときわ会をはじめ各会、ボランティアグループなどが活動しています。

長らく続いている行事に、公民館及び広場で行う「さくら(春)祭り」があります。平成に入り、桜公園が出来たのをきっかけに始めたのですが、若宮会(青年会)による焼き鳥・やしそば等々、女性有志によるおにぎり・宮田鍋等々で会食、ゲームなど楽しく半日過ごします。



▲世代を越えて親睦が深まります



▲もちまきは一番の大盛り上がり

また、今年で34回を迎える秋の運動会があります。恒例の秋祭りの行事として、宵宮の子供奉納相撲、祭り当日の子供神輿の後、大蔵小学校体育館を借りて実施します。「おしとやかに」「お化粧ゲーム」「紅白球入れ」など10種目程度の競技で幼児からお年寄りまで一緒になって大いに笑い、競いあって楽しめます。最後には、もち米作り会で収穫したもち米を使った景品つきもちまきで運動会がより一層盛り上がります。

これからも整備された公民館を大いに利用して、高齢地域ならではの特色ある村づくりが出来ればと思います。

じろはったん健康ウォーク

桜咲く季節に、じろはったん健康ウォークを開催致します。詳細につきましては、別途チラシを各戸配布します。

沢山の皆様のご参加をお待ちしております。

■開催日:4月12日(土)

(お問い合わせ先:大蔵地域自治協議会 TEL/672-5651)



お知らせコーナー

「大蔵の山城について」記録集を希望者に配付いたします

12月7日、但馬地域の城郭史研究者の西尾孝昌先生を講師に招いて行われた「大蔵の山城について」の講演会の記録集を無料にて配付しております。ご希望の方は大蔵地域自治協議会事務局までお問い合わせください。

TEL/672-5651

高瀬「にこにこ会」が県知事表彰くすのき賞受賞!

くすのき賞はボランティア活動で活躍する団体に贈られる賞です。高瀬「にこにこ会」は、かしのき園、おくらべを中心に介護手伝いや各施設をまわりフラダンスでボランティア活動をされています。受賞おめでとうございます。